

栃木県横断歩道橋長寿命化修繕計画



令和5(2023)年3月

栃木県 県土整備部 道路保全課

目 次

1. 計画の経緯と目的	1
1.1 これまでの経緯と本計画の位置づけ	1
1.2 目的	1
1.3 対象施設及び計画期間	1
1.3.1 対象施設	1
1.3.2 計画期間	1
2. 横断歩道橋の現状	2
2.1 横断歩道橋の現状	2
2.2 健全度の状況	3
2.2.1 健全性の分析	3
2.2.2 部材毎の健全性	3
2.2.3 損傷事例	4
2.3 措置の着手状況	5
3. 老朽化対策における基本方針	6
3.1 老朽化対策における基本方針	6
3.2 優先順位の設定	7
3.3 重要度評価の設定	8
3.4 維持管理区分の設定	9
4. 費用削減に関する具体的な方針	10
4.1 費用削減に関する具体的な方針	10
4.2 新技術の活用	10
4.2.1 新技術の活用検討	10
4.2.2 新技術の紹介	10
4.2.3 新技術の活用方針	12
4.2.4 新技術の活用による短期的な数値目標及び費用削減効果	12
4.3 集約化・撤去	13
4.3.1 横断歩道橋の集約化・撤去の方針	13
4.3.2 集約化・撤去の観点	13
4.3.3 集約化・撤去の評価項目（条件）	13
4.3.4 集約化・撤去対象の歩道橋	14
4.3.5 費用削減に関する短期的な数値目標及び費用削減効果	14
5. 長寿命化修繕計画の効果	15
5.1 効果の算出	15
5.2 効果の算出方法	16
5.2.1 LCC の設定	16
5.2.2 試算ケース	16
5.3 対策時期の設定	17
5.3.1 対策時期の設定	17
5.3.2 劣化機構	17
5.3.3 対策年数の設定	18
5.3.4 横断歩道橋における寿命の設定	18
5.4 対策工法の設定	19
5.5 工法単価の設定	20
5.5.1 補修工事の算定方法	20
5.5.2 工法単価の設定	20

5.6	長寿命化修繕計画の効果	21
5.7	個別施設リスト	22

1.計画の経緯と目的

1.1 これまでの経緯と本計画の位置づけ

栃木県においてはこれまで、管理する横断歩道橋の長寿命化修繕計画として、平成 28 年度に初版の計画を策定している。今回の改定は平成 26 年度からの点検が法定化され老朽化された施設においては修繕を実施している。点検や修繕を実施して途中で必要なデータが蓄積されてきたことから、より実態に応じた計画を目指し改定するものである。

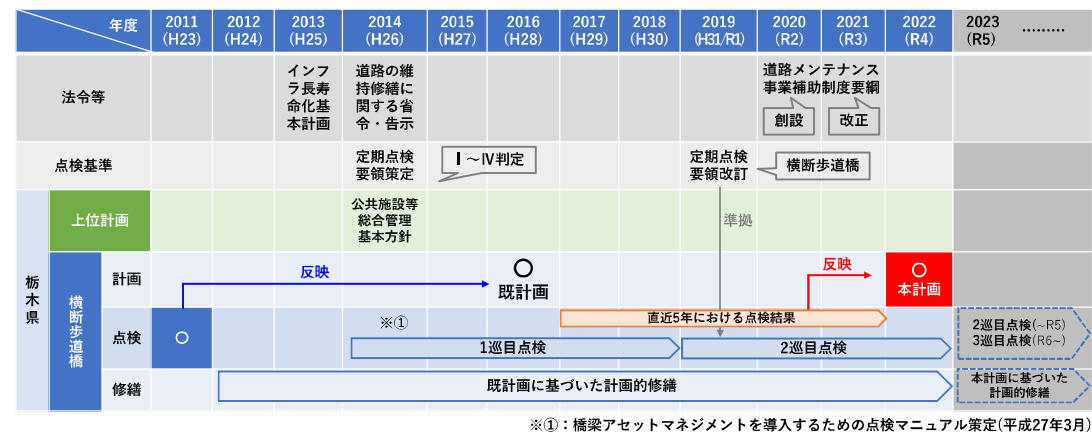


図 1-1. 栃木県における横断歩道橋長寿命化修繕計画の取り組み状況

1.2 目的

道路施設においては高度経済成長期からバブル景気前に急速に整備されたものが多く、近年それらの老朽化が顕著に表れている。道路施設においては、利用者や第三者の安全を確保した上で、必要な機能を着実に発揮し続けることが大前提であり、栃木県でも道路施設の長寿命化対策を重要かつ喫緊の課題ととらえている。そのような状況のもと、道路管理に当てられる予算は限られていることから、より一層計画的かつ効率的な管理の実施が不可欠となっている。

これを受け、本計画は栃木県が管理する横断歩道橋について、従来の対症療法的な管理から、予防保全型管理に方針転換することにより、対策や管理に要する費用の縮減、加えて今後の道路管理予算の平準化を目指しつつ、計画的かつ効率的に横断歩道橋を管理することを目的として改定するものである。

1.3 対象施設及び計画期間

1.3.1 対象施設

本計画の対象施設は、栃木県が管理する横断歩道橋 173 橋とする。(令和 4 年度末時点)

1.3.2 計画期間

本計画は、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間とする。

2.横断歩道橋の現状

2.1 横断歩道橋の現状

栃木県が管理する横断歩道橋数は、173 橋である。それらの建設年次は、一般に建設が集中したとされる高度経済成長期の後半からバブル景気前の 1967 年～1980 年に集中し、この間に管理する横断歩道橋の半数が建設されていることから、今後は老朽化が進行し、修繕等の維持管理費が集中することが懸念される。

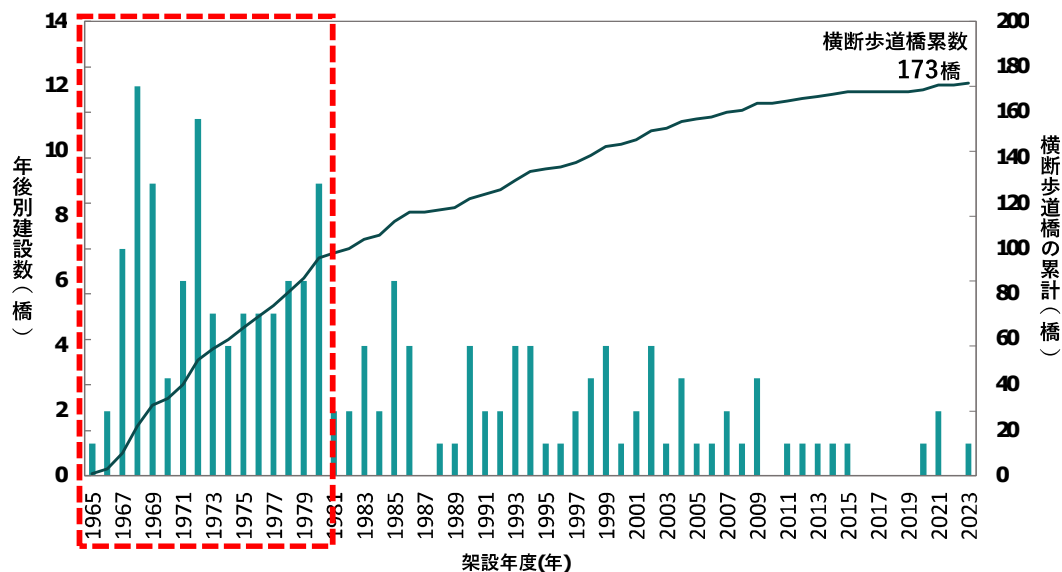


図 2-1. 横断歩道橋の架設年次別建設数

上記に関連し、横断歩道橋建設後の経過年数の割合を図 2-2 に、建設から 50 年以上が経過する 10 年毎の推移を横断歩道橋の割合を図 2-3 に示す。

建設から 50 年が経過した横断歩道橋は、現在は全体の約 30% 程度であり、10 年後には半数を超え、30 年後には約 90% 程度となる見込みである。よって、今後は老朽化が進行し修繕等の維持管理費が集中することが懸念される。

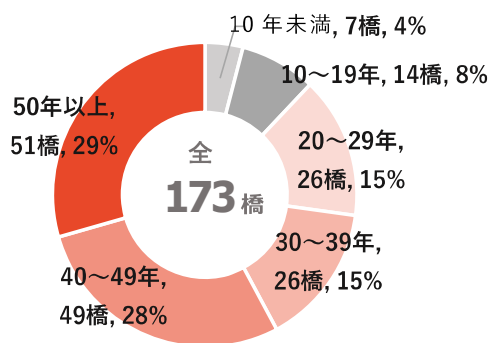


図 2-2. 建設後の経過年数割合

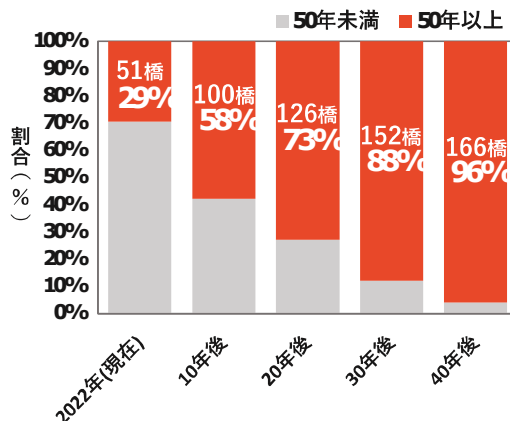


図 2-3. 50 年経過した横断歩道橋数の推移

2.2 健全度の状況

2.2.1 健全性の分析

平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で実施された、栃木県が管理する横断歩道橋の健全度割合を図 2-4 に示す。これによると、健全性Ⅰと健全性Ⅱが全体の 8 割以上を占めており、早急な対策を要する健全性Ⅲは 1 割強となっている。

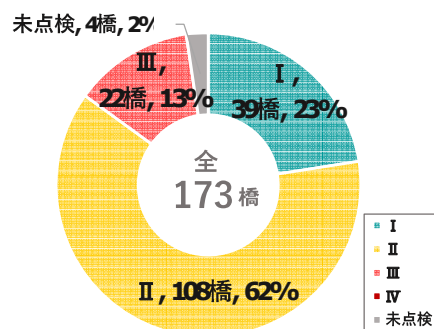


図 2-4. 直近 5 年間の点検で判定された健全性の割合

2.2.2 部材毎の健全性

部材毎の健全性を図 2-5 に示す。部材別では、健全性の低い（Ⅲ判定の）割合が多い順に、階段部、主桁、下部構造、横桁・床板であった。階段部では健全性Ⅲも部材の中で多い分析結果となっており、部材形状が複雑で滞水しやすいことから、腐食等の損傷が発生・進行しやすいことが考えられる。

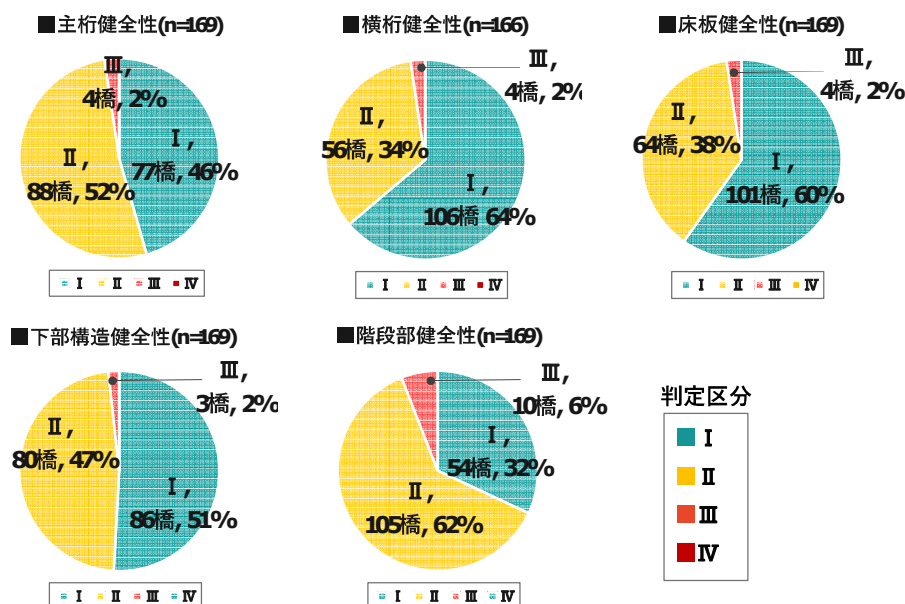


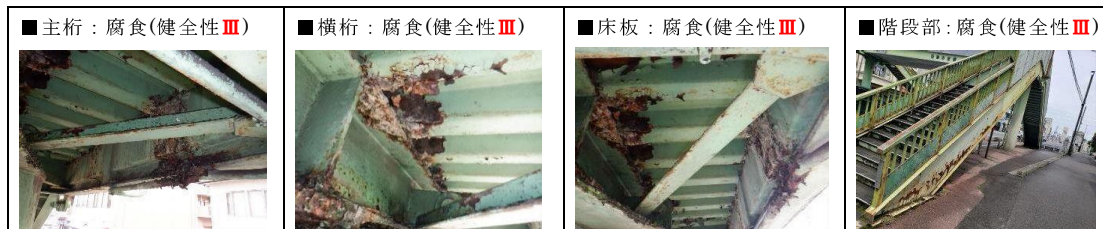
図 2-5. 部材毎の健全性

※健全性のデータについては、有効なデータが抽出できたものにより分析を行った。

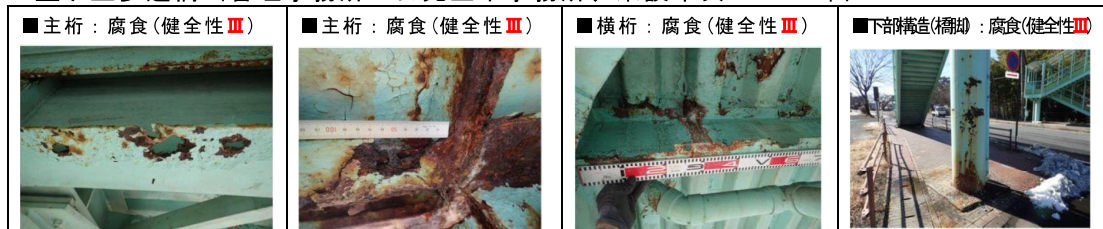
2.2.3 損傷事例

栃木県が管理する横断歩道橋で確認された損傷の事例を以下に示す。横断歩道橋の173橋中172橋が鋼橋であるため、鋼部材の腐食が損傷として多くみられる。中には歩行者の安全確保のため、凍結防止剤の散布をしている歩道橋があり、それによる腐食が確認された歩道橋もある。

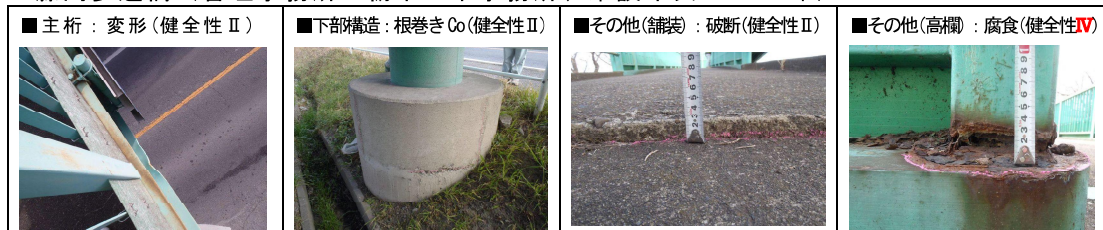
・ 築瀬歩道橋（管理事務所：宇都宮土木事務所、架設年次：1967年）



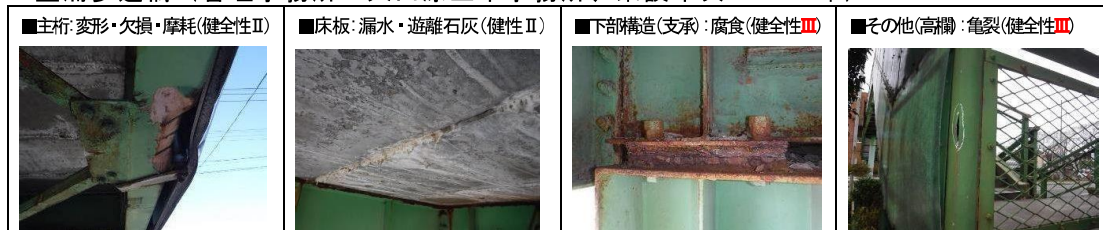
・ 星ヶ丘歩道橋（管理事務所：日光土木事務所、架設年次：1971年）



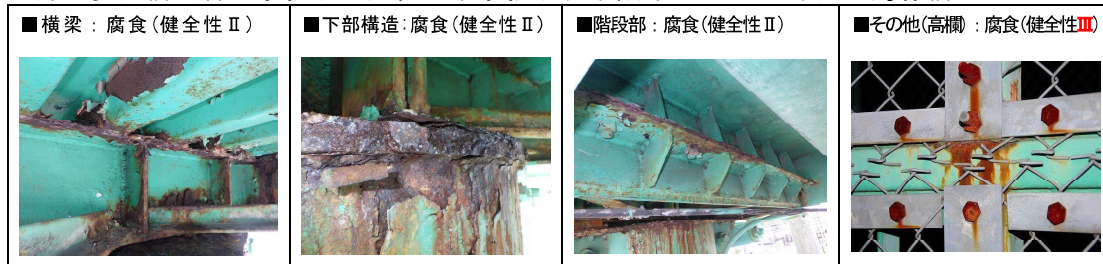
・ 藤岡歩道橋（管理事務所：栃木土木事務所、架設年次：1977年）



・ 豊浦歩道橋（管理事務所：大田原土木事務所、架設年次：1966年）



・ 片岡歩道橋（管理事務所：矢板土木事務所、架設年次：1969年）※跨線橋



2.3 措置の着手状況

法定点検で早期措置段階（健全度Ⅲ）となった横断歩道橋について、次回点検（5年後）までに措置を講ずる必要があることから優先的に修繕を実施している。併せて予防保全対策として、予防保全段階（健全度Ⅱ）の内、管理水準に達した横断歩道橋から修繕を実施している。

令和3年度末時点での、栃木県の横断歩道橋の措置の着手状況は、18橋の健全度Ⅲ判定の横断歩道橋の修繕が完了（82%【18/22橋】）している。一方で、管理水準に達している健全性Ⅱ判定の横断歩道橋の修繕は、21橋（63%【21/33橋】）に留まっている（表2-1）。

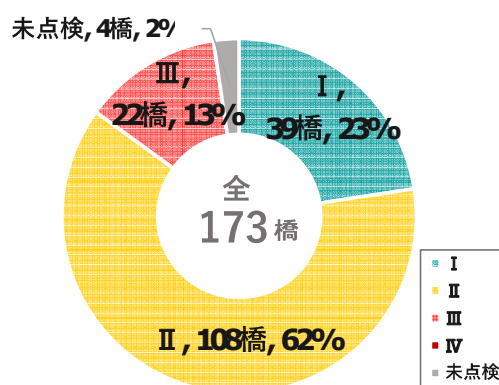
令和3年度時点までは健全性Ⅲの横断歩道橋に修繕が集中している。将来の修繕に要する費用を縮減するため、予防保全型の維持管理へ移行する必要があることが考えられ、残りのⅢ判定の修繕と併せてⅡ判定の修繕も推進する必要がある。

また、栃木県が管理する横断歩道橋の塗装には、有害物質（鉛）が含まれている歩道橋が約7割を占めている。これらの横断歩道橋はRc-I塗装系での対策が必要であり、塗膜除去時の対策費用が増大しているため、塗装に関する対策費用を縮減していく必要がある。

表 2-1. 直近5年における措置状況

対策年	対策数(橋)		
	I	II	III
H29(2017)	0	2	0
H30(2018)	0	2	1
R1(2019)	0	3	6
R2(2020)	0	4	4
R3(2021)	0	10	7
合計	0	21	18

※点検後、対策（設計、修繕）がある歩道橋について整理



<参考>直近5年間の点検で判定された健全度の割合（図2-4）

3.老朽化対策における基本方針

3.1 老朽化対策における基本方針

栃木県が管理する横断歩道橋は、老朽化時期の集中により修繕等の維持管理費が集中することが想定され、維持管理費の増大や修繕・更新時期の集中が見込まれる。長寿命化修繕計画に基づく計画的な管理や早期における予防保全型への移行により横断歩道橋の長寿命化を図り、安全安心の確保と長期的なコスト縮減を実現する必要がある。そこで、本計画の計画期間内における老朽化対策の基本方針を以下に示す。

<老朽化対策の基本方針>

1. メンテナンスサイクル確立のための方針

- 効果的な修繕・更新を行うため、「点検」→「診断」→「措置」→「記録」のメンテナンスサイクルの実施を図るとともに、長寿命化修繕計画については、随時検証・見直しを実施する。

2. 修繕事業の方針

- Ⅲ判定の横断歩道橋が約1割を超えることから、まずはⅢ・Ⅳ判定の施設に対して、速やかに修繕に着手する。
- Ⅱ判定の施設に対して、緊急輸送道路の指定や交通量等に応じた優先順位付けを行い、計画的な補修（予防保全）を実施し、ライフサイクルコストの縮減や更新時期の平準化を図る。

3. 新技術等の活用方針

- 新技術の積極的な活用により、事業の効率化と修繕を含めた管理費用の縮減を目指す。

4. 集約化・撤去事業の方針

- 利用者が著しく減少している横断歩道橋においては集約化・撤去を実施し、維持管理費用の縮減を図る。

3.2 優先順位の設定

長寿命化修繕計画の基本方針のもと、対策が必要であると判断された横断歩道橋や、対策実施時期・費用の集中が生じた場合、事業予算の平準化に向けて、対策の優先順位を設定する。優先順位の高いものから対策を実施するものとする。

本計画では、点検結果に基づき健全性が低い横断歩道橋を優先すること及び、維持管理区分の管理水準を下回った横断歩道橋を優先的に対策を行うことを基本とした。

<優先順位の考え方>

- ・Ⅲ・Ⅳ判定の横断歩道橋は、速やか（5年以内）に修繕に着手する。
- ・維持管理区分が予防保全型の横断歩道橋は、Ⅱ判定を下回った時点で重要度評価による優先順位を行い、計画的な補修（予防保全）を実施する。

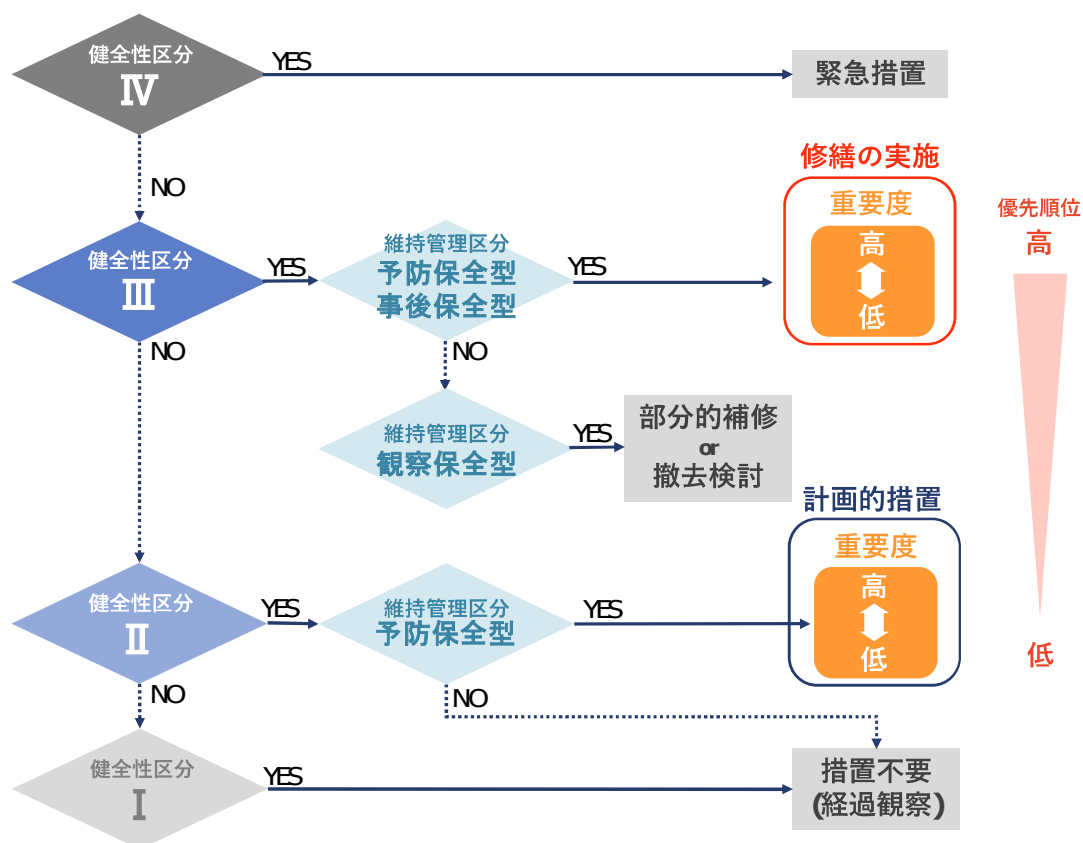


図 3-1. 修繕優先順位の評価フロー

3.3 重要度評価の設定

Ⅱ判定における対策の優先度を定めるための重要度について、設置されている道路種別や緊急輸送道路指定に関する「路線の重要度」、横断歩道橋の構造形式や幅員に関する「構造的性」、横断歩道橋の利用状況の評価や、人口集中地区（DID）及び設置されている道路の交通量に関する「第三者影響度」の3つの視点により評価する。

表 3-1 に、本計画において設定する重要度評価項目を示す。

表 3-1. 本計画における重要度評価項目と配点

視点	項目		配点	
路線の重要度	緊急輸送道路	一次	20	20
		二次		10
		三次		5
		その他		0
構造的性	橋長	100m～	10	10
		50m～100m		5
		～50m		0
	幅員	3m～	5	5
		2. 0m～3m		3
		～2. 0m		0
第三者影響度	桁下交差	鉄道	10	10
		一般道		0
	DID地区	該当	15	15
		非該当		0
	桁下交通量 (台/24h)	20000	20	20
		10000～20000		10
		～10000		0
	近接する 公共施設	有(幼稚園・小中学校)	20	20
		有(上記以外の公共施設)		10
		無		0
計			100	

表 3-2. 公共施設の内訳

公共施設	該当施設数（橋）	
幼稚園	10	117
小・中学校	112	
病院	5	
福祉施設	0	
郵便局	11	
地方公共団体	2	
その他	16	

※重複する横断歩道橋あり

3.4 維持管理区分の設定

横断歩道橋の維持管理は「予防保全型」、「事後保全型」ならびに、「観察保全型」に分類して実施する。「観察保全型」は、架替や撤去を前提とし最小限の維持管理に留める区分とする。

本計画における横断歩道橋の維持管理区分は、前項に示す重要度評価を用いて、重要度合計点数が 55 点以上の横断歩道橋を予防保全型とする。

表 3-3. 本計画における維持管理区分

維持管理区分	管理手法	管理水準
予防保全型	維持管理レベルを高く設定し、大規模な補修・更新をしないことを前提として、予防的な対策を行う。損傷が軽微な段階で早めの対策を実施することで、長期的な維持管理費用の縮減を図る。	健全性Ⅱ
事後保全型	ある程度の劣化は許容し、所定の劣化段階に至った時点で補修・更新を行う。損傷が発生した場合に構造的に与える影響が小さいと考えられる部材や損傷した部材の交換が容易なもの・安価なものは、従来の対症療法的な修繕を実施する。	健全性Ⅲ
観察保全型	架替や撤去を前提として最小限の維持管理に留める。現時点で損傷が相当進行しており、補修をするよりも架替を前提とした方が合理的と判断される場合や、歩道橋の機能の面から架替が必要と考えられる場合、他の事業などにより架替や廃止（撤去）が予定されている歩道橋に適用する。	健全性Ⅲ 管理者判断 ※必要に応じて修繕を実施

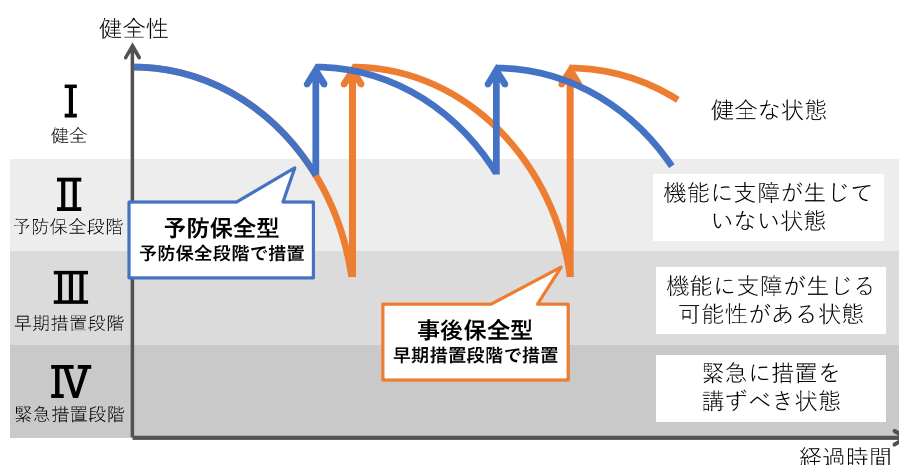


図 3-2. 予防保全型・事後保全型の対策時期

4.費用削減に関する具体的な方針

4.1 費用削減に関する具体的な方針

費用削減に関する具体的な方針として、新技術の活用、及び集約化・撤去による費用削減方針及び効果を以下に示す。なお、予防保全対策による費用削減方針は本編第 3 章に、同効果は同 5.7 に示す。

4.2 新技術の活用

4.2.1 新技術の活用検討

横断歩道橋に係る修繕の省力化や維持管理費用削減を図るため、修繕等対策を行うすべての横断歩道橋において、国土交通省による点検支援技術性能カタログ及び新技術情報活用システム（NETIS）に掲載された新技術の活用検討を行う。また、新技術の活用により、ライフサイクルコストが有利になる場合は、積極的に活用する。

4.2.2 新技術の紹介

栃木県における横断歩道橋の損傷に関する対策工法を表 4-1 示す。各対策工法（赤字）の補修技術（塗替補修、コンクリート補修等）及び、点検技術に関する新技術を次頁に紹介する。

表 4-1. 横断歩道橋の対策工法

材質	部位	対策工法
鋼部材	上部・下部	塗装（Rc-Ⅲ 塗装系）
		塗装（Rc-Ⅰ 塗装系）
		光硬化シート貼付け
	床板	橋面防水
	排水	排水管更新
コンクリート部	下部	ひびわれ補修
	下部	断面修復
舗装	床板・階段部	舗装取替

※鉛含有塗膜を有する横断歩道橋（設置年 2005 年以降）は、管理区分によらず全て Rc-Ⅰ 塗装系で対策を行う

■性能カタログ（点検技術）

No	点検支援 カタログ 技術番号	技術名	技術概要	対象部材	変状項目				
					コンクリート部材		鋼部材		他
					ひび割れ／ 床版ひびわれ	剥離・ 鉄筋露出	遊離石灰	腐食	
1	BR010002-V0222	超望遠レンズによる高層建造物の 外観検査技術	・足場不要で外観検査ができる技術。 ・90m離れた地点から撮影した画像で、1ピクセル当 たり0.3mmの精度を持つ。 ・撮影距離40mで1ピクセルあたり0.2mm、撮影距 離100mで1ピクセルあたり0.5mm ・撮影範囲を厳守することで精度は原理的に維持され る。 ・撮影した画像をPCのモニターで拡大表示し、細部を 詳細に見ることで鋼構造物の塗装の剥離、腐食、欠損 等を把握することができる。	上部構造、下部構造	×	×	×	○	変形、欠損 他
2	BR010006-V0222	光波測量機「KUMONOS」及び高 解像度カメラを組み合わせた高精 度点検システム「シン・クモノ ス」	遠望より計測できる光波測量機と高解像度カメラの撮 影・補正を組み合わせることで、構造物表面の変状を 確認する。	上部構造、下部構造	○	○	○	×	漏水・滲水 他
3	BR010019-V0322	橋梁等構造物の 点検ロボットカメラ	点検員が離れた場所よりカメラで視察して点検する。 高所型・懸垂型ホールは伸縮可能で、カメラの視準位 置を変更することができる。	上部構造、下部構造、 支承部	○	-	-	○	鋼部材の腐食、漏 水・滲水 他

■NETIS（補修技術：塗替）

No	NETIS番号	工法名	技術概要	従来工法	適用工事
1	KT-220094-A	シリコン樹脂を用いた 「バップアーコート」工法	・鋼橋やコンクリート建造物の防食および表面保護を行うシリコン樹脂の コーティング工法。 ・3層の塗膜層でも40年以上の長期耐久性が確保できるため、品質および経済 性の向上が図れる。 ・1液型で混合の手間が不要である。 ・一般的な塗膜にはないガス透過性がある。（水蒸気を通す） ・有機溶剤を含んでおらず、刺激性が殆どない。（NS型の場合） ・経年変化による下地の疲労亀裂が確認できる。（バップアーコートNSクリ アールの場合）	・塗替塗装 (C-5系(重防食塗装))	・塗替塗装工事および表面被覆工事
2	CB-180024-A	エコクリーンハイブリッド工法	・循環式プラスト工法の腐蝕材を用いて、既設橋梁溶接部にショットピーニ ングを施す技術。 ・投射時間や圧力管理による施工管理や蛍光塗料とカバレーシチェッカーを用 いることによる出来形管理方法を確立し、既設橋梁での対応を可能とした技 術。 ・鋼橋の溶接部に対する疲労耐久性を向上させるため、塗装塗替え作業におけ る素地調整程度1種のプラスト作業において、特殊鋼球を用いてショットピー ニングを行い、溶接部及びその近傍の熱影響部に圧縮残留応力を付与する予防 保全工法である。 ・研磨剤と塗膜を吸い込み、同時に塗装を回収するため周囲への塗膜飛散は少 ない。	-	・プラストを伴う補修工事
3	CG-140016-VR	PPSライニング工法 (UVPPS工法)	・UVPPS(PPSライニング)工法は、透明性の高い光硬化型FRPシートを老朽 化した鉄等に貼付ける事で、耐久性(耐摩耗性・防錆)、施工性(硬化時間が速 く形状不問)、施工後の視認性が向上。 ・伸縮するシートを使用する事で、継ぎ目部の伸縮に対しても対応可能。	・塗装工 ・鉄板溶接工	・新設及び既設鋼柱の腐食対策工事 ・歩道橋の蹴上げ、ささら部、地盤等の 腐食対策工事 ・橋梁等の高欄部、主桁部や支柱部等鋼 構造物の防食工事

■NETIS（補修技術：コンクリート）

No	NETIS番号	工法名	技術概要	従来工法	適用工事
1	TH-200001-A	ひび割れへのシールテープ 「せごたん」を用いた手動式低圧 注入工法	・本技術は注入材の充填状況を可視化するテープと手動式低圧注入工法を用いる技 術。 ・充填状況を確認しつつ最適な圧力で注入できるため、品質及び作業効率の向上が 期待できる。 ・透明なシールテープに代えたことにより、注入材の充填状況が確認でき、手動式 低圧注入工法を採用することで充填状況を確認しながら最適な圧力で注入が可能と なり施工品質が向上する。 ・手動式低圧注入工法に代えたことにより、注入圧金の設置が不要でシールテープ 貼付後すぐに注入材の注入ができ、目付シールテープの撤去が容易になるため、工 期が短縮される。	・不透明なシール材を用いた自 動式低圧注入工法	・コンクリート構造物のひび割れ注入工事
2	QS-150001-VE	NC ショット	・コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材。 ・天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミック スモルタル化した。 ・耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。 ・高炉水砕スラグ胚骨材はアルカリ骨材反応は起きない。 ・高炉水砕スラグ胚骨材の球形化技術により、単位水量を減らすことが可能とな り、より密実性の高いモルタルとなる。その結果、乾燥収縮の低減に繋がる。 ・リサイクル材料である、高炉水砕スラグを有効活用し、天然砂の使用を抑えるこ とができ、循環型社会の形成に貢献できる。	・天然砂を使用したポリマーセ メントモルタル	・コンクリート構造物全般の断面修復工事
3	KK-200008-A	床版防水ウルトラシール工法	・コンクリート橋床版を防水するための工法技術。 ・専用塗布機の使用による安全性の向上、施工性の向上、耐久性向上による品質の 向上が期待できる。 ・バーナー搭載型専用機械での施工による作業員の安全性及び施工性向上。 ・使用材料の防水性能向上による品質の向上。	・アスファルト加熱型塗膜系床 版防水工法	・コンクリート橋床版の新設及び補修工事 における橋梁床版の防水工

4.2.3 新技術の活用方針

栃木県においては、172 橋が鋼橋であることから、腐食等の劣化傾向がある。新技術を活用し、より経済的な対策を実施することで費用縮減に努める。

表 4-2 の工法について比較検討した結果、新技術については、「塗装」に関する「研削材再利用型ブラスト」を採用することとした。

なお、新技術の工法選定については、各土木事務所の設計・施工時等の現場条件に合わせた検討を実施する。

表 4-2. 比較検討した横断歩道橋に関する新技術

部材	材質	新技術の概要	採否
上部・下部	鋼部材	光硬化シート	不採用
		塗装塗替	不採用
		塗装塗替(研削材再利用型ブラスト)	採用

4.2.4 新技術の活用による短期的な数値目標及び費用縮減効果

令和 7 年度までに、修繕予定の 15 施設で塗膜剥離の新技術を活用することで、約 70 百万円の修繕に要する費用の縮減を目指す。

表 4-3 に、令和 7 年までに新技術の活用を目指す歩道橋を示す。

表 4-3. 新技術活用対象歩道橋

管理番号	横断歩道橋名	設置年(年)	橋長(m)	幅員(m)	管理土木事務所	点検年度	健全性
FB1-090000-00005	戸祭大橋歩道橋	1968	141.6	2.3	宇都宮土木事務所	2021	Ⅱ
FB1-090000-00014	みはら歩道橋	1986	52.4	1.5	宇都宮土木事務所	2021	Ⅲ
FB1-090000-00023	若草歩道橋	1982	79.3	2.2	宇都宮土木事務所	2021	Ⅱ
FB1-090000-00027	滝谷町歩道橋	1973	186.9	1.5	宇都宮土木事務所	2021	Ⅱ
FB1-090000-00030	上の前歩道橋	1976	96.4	2	宇都宮土木事務所	2021	Ⅲ
FB1-090000-00055	今市小前歩道橋	1967	31.2	2.3	日光土木事務所	2021	Ⅲ
FB1-090000-00058	星ヶ丘歩道橋	1971	46.1	1.5	日光土木事務所	2020	Ⅲ
FB1-090000-00060	大桑歩道橋	1980	64.1	2	日光土木事務所	2020	Ⅱ
FB1-090000-00063	大谷向歩道橋	1971	74.4	1.5	日光土木事務所	2020	Ⅱ
FB1-090000-00072	御前歩道橋	1984	169.4	2	真岡土木事務所	2017	Ⅱ
FB1-090000-00084	西方小学校前歩道橋	1999	194.7	2.5	栃木土木事務所	2019	Ⅱ
FB1-090000-00088	平柳町歩道橋	1997	32.2	2.1	栃木土木事務所	2019	Ⅱ
FB1-090000-00089	国谷歩道橋	1999	26.6	1.5	栃木土木事務所	2019	Ⅱ
FB1-090000-00103	野中町歩道橋	1979	46.4	1.5	栃木土木事務所	2019	Ⅲ
FB2-090000-00001	片岡歩道橋	1969	51.8	1.5	矢板土木事務所	2020	Ⅲ

4.3 集約化・撤去

4.3.1 横断歩道橋の集約化・撤去の方針

利用者が著しく減少している横断歩道橋において、周辺状況等総合的に判断し、集約化撤去することで、点検や修繕に要する費用の縮減に努める。

4.3.2 集約化・撤去の観点

集約化・撤去の観点として、「利用状況」「利用者の安全面」「代替施設」の3つの観点から主な評価項目を整理し、検討を行った（表 4-4）。

表 4-4. 集約化・撤去を検討する際の3つの観点

観点	集約化・撤去の検討を行う際の捉え方（考え方）
利用状況	近傍に公共施設を有さない横断歩道橋（又は DID 地区に該当しない横断歩道橋）は、利用状況が少ないと考えられ、集約化・撤去の対象となる。
利用者の安全面	設置箇所及び周辺で事故が発生していない箇所に設置している横断歩道橋は、撤去後も利用者の安全性が確保できると考えられ、集約化・撤去の対象となる。
代替施設	代替施設となり得る施設（横断歩道橋、横断歩道）が近傍にある横断歩道橋は、その施設への機能の代替が検討でき、集約化・撤去の対象となる。

4.3.3 集約化・撤去の評価項目（条件）

集約化・撤去の評価項目（条件）を表 4-5 に示す。

表 4-5. 横断歩道橋の集約化・撤去を検討する際的评价指標（着色箇所：撤去条件該当）

観点	評価項目（集約化・撤去要件）	評価方法
利用状況	公共施設	幼稚園・小中学校有
		公共施設有（幼稚園・小中学校含む）
		無
	DID 地区	非該当 該当
利用者の安全面	事故の発生	横断歩道橋箇所事故発生無し
		横断歩道橋箇所事故発生
代替施設	代替施設または迂回施設	有（100m 以内）
		無
	代替施設（横断歩道）の設置可能性	桁下車線数（3 車線以下）
		桁下交通量

< 栃木県における集約化・撤去の条件まとめ >

- ・ 利用状況が少ない横断歩道橋
- ・ 撤去後利用者の安全面が確認できる横断歩道橋（過去に事故が発生していない）
- ・ 代替施設が有る（または横断歩道が設置可能な）横断歩道橋

4.3.4 集約化・撤去対象の歩道橋

前項の評価条件より、集約化・撤去対象歩道橋を表 4-6 に示す。

表 4-6. 集約化・撤去対象歩道橋

管理番号	横断歩道橋名	路線名	設置年(年)	橋長(m)	幅員(m)	管理土木事務所
FB1-090000-00010	一条町歩道橋	国道119号	1969	64.3	1.5	宇都宮土木事務所
FB1-090000-00107	犬塚歩道橋	県道33号線	1971	42	1.5	栃木土木事務所
FB1-090000-00125	乙畑横断歩道橋	県道353号線	2005	15	1.5	矢板土木事務所
FB1-090000-00163	八瀬歩道橋	県道67号線	1966	37.4	1.5	安足土木事務所

4.3.5 費用削減に関する短期的な数値目標及び費用縮減効果

令和7年度までに、健全度判定ⅢまたはⅣの横断歩道橋のうち、当該箇所の交通量が少ない1施設を集約化・撤去することで、約1百万円の点検に要する費用の縮減を目指す。

5.長寿命化修繕計画の効果

5.1 効果の算出

直近5年の定期点検結果をもとに、5年間（2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度））における、本計画によりもたらされる効果を算出した。効果算出のためのフロー図を図5-1に示す。

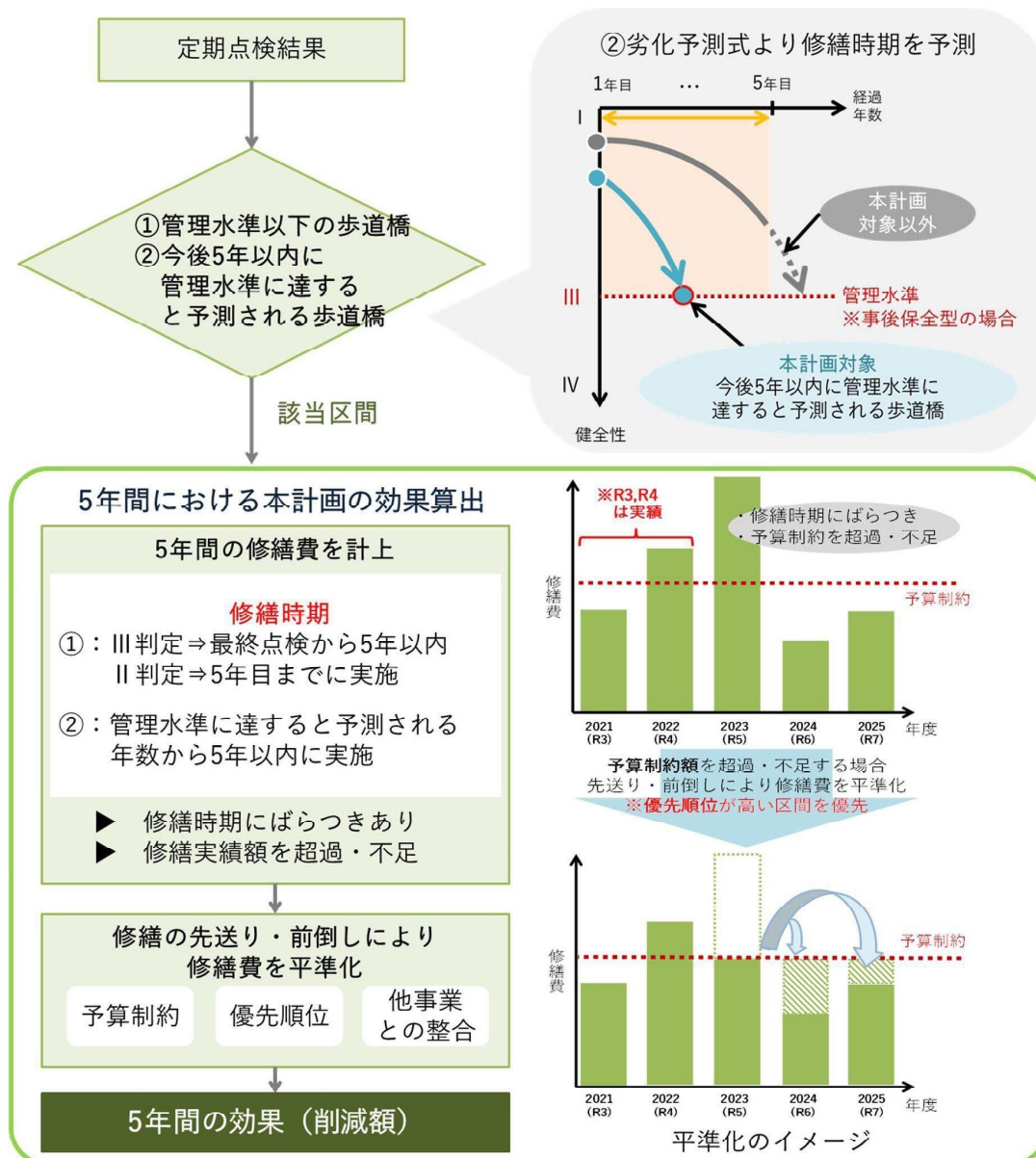


図 5-1. 効果算出のためのフロー

5.2 効果の算出方法

5.2.1 LCC の設定

長寿命化修繕計画の効果を定量的に算出するため、LCC（ライフサイクルコスト）を試算した。なお、LCC の試算にあたっては、長期的にみたときの費用の総額や集中時期等の大枠的な傾向を把握・評価するものとし、維持管理における「修繕」、「定期点検」、及び「補修設計」を LCC 算出の対象とした。表 5-1 に LCC 算出上の条件を示す。

表 5-1. 横断歩道橋における LCC 試算上の条件

対象		LCC 試算上の条件
期間		2021 年度～2052 年度（30 年間） ※2021 年、2022 年、2023 年は実績及び予定修繕費を計上
修繕工事	補修周期	- 現段階で管理水準を下回る横断歩道橋の費用計上 - 劣化予測等により管理水準に達すると予想される時期に費用計上
定期点検		5 年に 1 回費用計上 （栃木県過年度横断歩道橋実績：上部工（通路部）1 径間 60 万 ※1 径間増えるごとに+25 万円）
架替工事		積算基準より算出（架替費に撤去費含む）
補修設計		- 工事発注の 1 年前に実施し、工事費用の 10%を費用計上 ※設計費の最低金額は 100 万円と設定
諸経費		直接工事費に応じた諸経费率より算出

5.2.2 試算ケース

横断歩道橋の管理方針のあり方として適切な設定を検討するため、横断歩道橋の維持管理区分の考え方に応じた 2 つの試算ケースについて、LCC を算出した。

表 5-2. 横断歩道橋における試算ケース

試算ケース	概要（管理方針）
ケース 1	架替を前提とした管理（事後保全型）
ケース 2	維持管理区分に基づいた管理（予防保全型）

5.3 対策時期の設定

5.3.1 対策時期の設定

LCC を試算するために必要となる「算出区分」、「対策年数」、「寿命」、「対策工法」について本計画で設定した内容を次項以降に示す。

5.3.2 劣化機構

各部材における対策実施の管理水準に到達する年数（対策年数）を算出するために、本計画で設定した横断歩道橋の材質区分と考慮する劣化機構を表 5-3 に示す。

表 5-3. 横断歩道橋における対策部材の劣化機構

材質区分	部材区分	劣化機構
鋼部材	上部構造（主桁、横桁、鋼床版）	防食機能の劣化・腐食
	下部構造	
コンクリート部材	コンクリート床版、下部構造	中性化
舗装	舗装	経年劣化

【使用データ条件】

- ・部材毎の健全性が確認できる点検調書「様式 1.2」に記された点検結果を用いた。
- ・鋼部材については、塗替等の補修履歴が確認できた歩道橋を対象にしているが、塗替仕様が既存資料からは読み取れず、そのような状況のもとデータを平均することで塗装仕様を劣化予測に反映させることが困難となることから、データを平均化せず対策年次からの供用年数を用いて劣化予測の算出を行うこととした。
- ・コンクリート部材については、鋼部材とは違い品質が一定なため、データを平均化して劣化予測を行うこととした。

5.3.3 対策年数の設定

横断歩道橋の点検結果より算出した材質区分ごとの対策年数を表 5-4 に示す。本計画では、栃木県が直近 5 年間で実施した点検結果から算出した。

表 5-4. 材質別対策年数

材質		対策年数		設定根拠
		健全性Ⅱ	健全性Ⅲ	
鋼部材	上部構造	25 年	35 年	栃木県劣化予測式使用
	下部構造	29 年	41 年	栃木県劣化予測式使用
コンクリート部材		38 年	54 年	栃木県劣化予測式使用
舗装		20 年		文献（舗装・防水層の平均年数）を参考

5.3.4 横断歩道橋における寿命の設定

横断歩道橋を更新するまでの期間として、本計画における横断歩道橋の寿命を表 5-5 の通り設定した。

表 5-5. 寿命の設定

維持管理手法	寿命（更新までの期間）
予防保全型	120 年
事後保全型	80 年

5.4 対策工法の設定

本計画における横断歩道橋補修で想定する対策工法は、栃木県が管理する横断歩道橋の損傷状況を踏まえ、表 5-6 及び表 5-7 の通り設定した。

表 5-6. 横断歩道橋における対策工法一覧（鋼橋）

材質	部材	対策工法	予防保全型管理		事後保全型管理	
			健全性Ⅱ (管理水準)	対策 時期	健全性Ⅲ (管理水準)	対策 時期
鋼部材	上部・下部	塗装(Rc-Ⅲ塗装系) (※2)	○	25 年	-	-
		塗装(Rc-Ⅰ塗装系) (※2)	○ (※1)	25 年	○	35 年
		光硬化シート貼付け	○	25 年	-	-
	床板	橋面防水(※2)	○	20 年	○	20 年
コンクリート 部材	上部・下部	ひびわれ補修	○	38 年	○	54 年
舗装	床板・ 階段部	舗装取替(※2)	○	20 年	○	20 年
排水		排水管更新(※2)	○	25 年	○	34 年

※1：鉛含有塗膜を有する横断歩道橋（設置年 2005 年以降）は、管理区分によらず全て Rc-Ⅰ 塗装系での対策を基本とする

※2：工法に応じて、安全側の部材対策時期に合わせ、同時期に対策を行う設定とした

表 5-7. 横断歩道橋における対策工法一覧（コンクリート橋）

材質	部材	対策工法	予防保全型管理		事後保全型管理	
			健全性Ⅱ (管理水準)	対策 時期	健全性Ⅲ (管理水準)	対策 時期
コンクリート 部材	上部・下部	ひびわれ補修	○	38 年	○	54 年
		断面修復	-	-	○	54 年
	床板	橋面防水(※2)	○	20 年	○	20 年
舗装	床板・ 階段部	舗装取替(※2)	○	20 年	○	20 年
排水		排水管更新(※3)	○	38 年	○	54 年

※3：主部材の対策時期に合わせ、同時期に対策を行う設定とした

5.5 工法単価の設定

5.5.1 補修工事の算定方法

本計画では、横断歩道橋の橋面積あたりの補修単価として「工法単価」を設定し、以下の式により補修工事費を求めることとした。

$$\text{補修工事費(円)} = \text{工法単価(円)} \times \text{橋面積(m}^2\text{)}$$

工法単価：基準単価をもとに、橋面積をかけて適切な工事費となるよう調整された単価

橋面積：対象とする横断歩道橋の階段部・斜路部を含む投影面積

5.5.2 工法単価の設定

前項に示す対策工法について、工法単価を設定した。

工法単価は、国土交通省の土木工事標準積算基準書（令和４年度版）を基本として設定した。また、面積あたりの単価とするために割り戻す面積には、全横断歩道橋の平均橋面積（110m²）を用いている。さらに、足場を要する対策においては足場費用を見込んだ。加えて、各部材の損傷割合は工法単価に含んでおり、措置時に想定される損傷割合を実績及び経験に基づき設定した。以上により設定した工法単価は、表 5-8 の通りである。

表 5-8. 横断歩道橋の工法単価

材質	部材	対策工法	新技術	工法単価	
				単価(円)	単位
鋼部材	上部・下部	塗装（Rc-III塗装系）		53,505.8	m ²
		塗装（Rc-I塗装系） ※研削材再利用型ブラスト	○	107,494.3	m ²
		光硬化シート貼付け		5,343	m ²
		撤去再設置		406,586	m ²
	排水	排水管更新		9,781	m ²
コンクリート	上部・下部	ひびわれ補修 ※柱基部のみ		1,240	m ²
		ひびわれ補修 ※コンクリート橋のみ		1,288	m ²
		断面修復 ※コンクリート橋のみ		8,164	m ²
				8,279	
舗装	床版・階段部	舗装取替		18,885	m ²
	床版・階段部	橋面防水		20,805	m ²

5.6 長寿命化修繕計画の効果

長寿命化修繕計画に従い、計画的に維持管理を実施した場合と、従来型管理（更新を前提とした管理）を実施した場合の、今後 30 年間の維持管理費用の試算結果を図 5-2 に示す。

栃木県においては今後、本計画に則り、横断歩道橋に関する「予防保全型維持管理」、「修繕への新技術活用」、「集約化・撤去検討」を着実にかつ計画的に実施することを努める。これにより、計画着手から 30 年後には約 6.2 億円(約 5%)の費用削減効果、50 年後には約 67.2 億円(約 26%)の費用削減効果となる。

予防保全管理による効果について、計画着手から 30 年間は初期投資期間と考えているため効果は希薄であるが、50 年間では一定の効果が得られる。

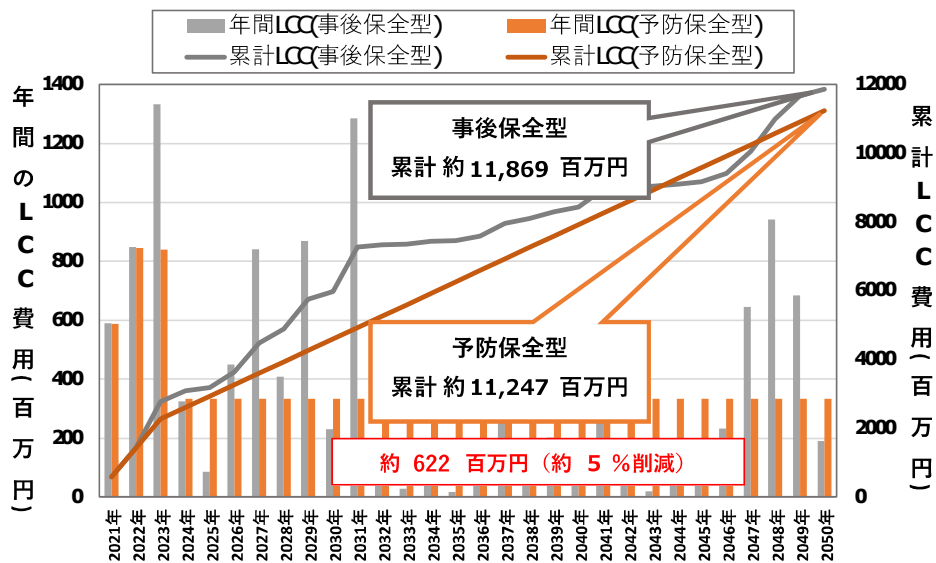


図 5-2. 長寿命化修繕計画と従来型管理での LCC 比較 (30 年間)

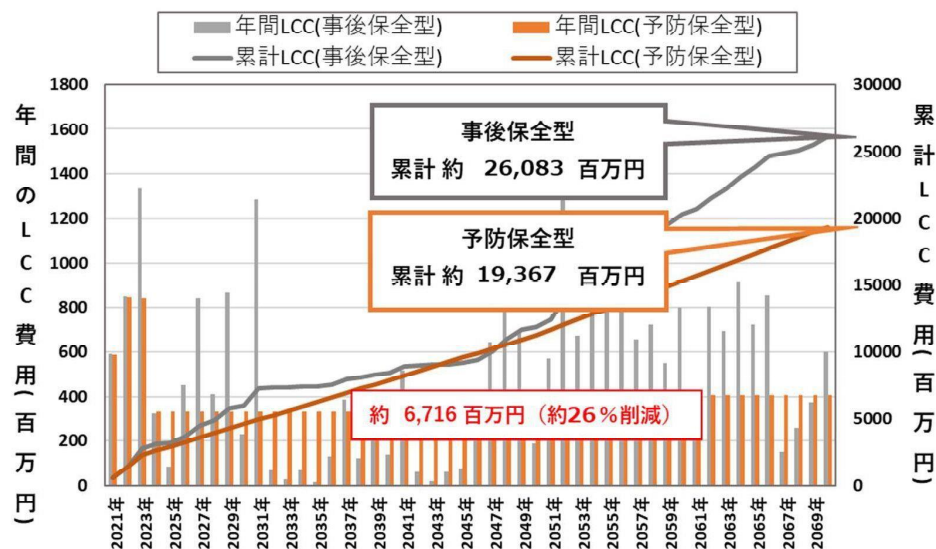


図 5-3. 長寿命化修繕計画と従来型管理での LCC 比較 (50 年間)

5.7 個別施設リスト

本計画における対象構造物の諸元、直近における点検結果及び次回点検時期、対策内容、対策の着手・完了予定年度、対策に係る全体概算事業費をとりまとめた「個別施設リスト」を次項以降に示す。

個別施設リスト (2024年度)

No	施設名	路線名	築設年 (年)	橋長 (m)	幅員 (m)	管理事務所	所在地	直近の 点検結果 点検年次 判定	次回 点検年度	R5 2023年度			R6 2024年度			R7 2025年度			R8 2026年度			R9 2027年度			概算事業費 百万円
										点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	
										16施設	2施設	8施設	40施設	4施設	10施設	56施設	0施設	3施設	56施設	0施設	50施設	0施設		0施設	百万円
1	児嶋中歩道橋	山通119号	1973	69.5	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市徳次郎町	2021	Ⅱ	2026										●					
2	三番辻歩道橋	国道119号	1965	34.5	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市徳次郎町	2019	Ⅱ	2024			●												
3	熊谷歩道橋	国道119号	1968	40.0	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市上戸塚町	2021	Ⅱ	2026										●					
4	緑井館前歩道橋	国道119号	1970	50.3	2.3	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市戸祭	2021	Ⅰ	2026										●					
5	戸祭大根歩道橋	国通119号	1968	141.6	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市松原	2021	Ⅱ	2026										●					
6	中戸祭歩道橋	国道119号	1968	35.0	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市松原	2021	Ⅱ	2026										●					
7	戸祭小入口歩道橋	国通119号	1967	46.4	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市戸祭	2021	Ⅱ	2026										●					
8	佐4丁目歩道橋	国通119号	1967	44.9	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市桜	2021	Ⅰ	2026										●					
9	三リオへ歩道橋	国通119号	1969	38.8	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市泉町	2021	Ⅰ	2026										●					
10	一栗町歩道橋	国通119号	1969	64.3	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市一栗	2021	Ⅰ	2026										●					
11	不動岡歩道橋	国通119号	1968	37.6	2.3	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市不動岡	2021	Ⅰ	2026										●					
12	現郷歩道橋	国通119号	1991	149.3	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市泉町	2021	Ⅱ	2026										●					
13	下川原歩道橋	国通119号	1990	134.1	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市下川原町	2021	Ⅱ	2026										●					
14	みはろ歩道橋	国通119号	1986	52.4	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市湯敷ヶ原町	2021	Ⅲ	2026		●								●					100.0
15	御幸ヶ原小学校前歩道橋	国通119号	1983	52.4	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市湯敷ヶ原町	2021	Ⅲ	2026										●					87.0
16	西川田歩道橋	国通121号	1978	152.0	2.8	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市西川田町	2023	Ⅰ	2028															
17	清原小前歩道橋	国通123号	2001	284.0	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市永星町	2021	Ⅱ	2026										●					350
18	栃木県農業大学校前歩道橋	国通123号	1993	54.6	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市塩山町	2021	Ⅰ	2026										●					
19	塩山松原歩道橋	国通123号	1989	115.0	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市塩山町	2021	Ⅱ	2026										●					
20	明治暫小前歩道橋	国通352号	1975	62.6	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県河内郡上三川町多功	2021	Ⅰ	2026										●					
21	梁瀬歩道橋	宇都宮・笠間線	1968	60.3	2.3	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市梁瀬丁目	2021	Ⅲ	2026										●					55.0
22	桜5丁目歩道橋	宇都宮・栃木線	1967	47.6	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市桜3丁目	2021	Ⅱ	2026										●					
23	若等歩道橋	宇都宮・竜和田、栃木線	1982	79.3	2.2	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市若等4丁目	2021	Ⅱ	2026										●					
24	宝木小学校前歩道橋	宇都宮・亀和田、栃木線	1986	55.9	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市宝木一丁目	2019	Ⅱ	2024										●					
25	宝川第二小学校前歩道橋	宇都宮・亀和田、栃木線	1996	128.9	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市亀田町	2021	Ⅰ	2026										●					
26	栗本歩道橋	宇都宮・亀和田、栃木線	1999	70.9	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市下郷上町	2021	Ⅱ	2026										●					
27	庵谷町歩道橋	宇都宮・栃木線	1973	186.9	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市庵谷町	2021	Ⅱ	2026										●					
28	稲田富士見歩道橋	宇都宮・栃木線	1972	66.9	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市稲田町	2021	Ⅱ	2026						●				●					100
29	宮の原中学校前歩道橋	宇都宮・栃木線	1972	127.6	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市稲田町	2021	Ⅲ	2026										●					140.0
30	上の町歩道橋	宇都宮・栃木線	1976	96.4	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市稲田町	2021	Ⅲ	2026										●					125.0
31	紙上歩道橋	宇都宮・栃木線	1972	66.7	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市稲田町	2021	Ⅰ	2026										●					
32	原坂歩道橋	宇都宮・碓氷線	1969	59.4	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市碓氷町	2021	Ⅰ	2026										●					
33	上三川町北小歩道橋	宇都宮・碓氷線	1980	42.4	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県上三川町上郷生	2021	Ⅱ	2026										●					
34	豊郷なかよし歩道橋	碓氷・宇都宮線	2002	201.0	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市栗郷	2021	Ⅱ	2026										●					
35	歌の里歩道橋	宇都宮・向田線	1967	61.7	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市稲田町	2021	Ⅰ	2026										●					
36	一の沢歩道橋	宇都宮・今市線	2011	104.9	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市一の沢町	2021	Ⅰ	2026										●					
37	井戸川歩道橋	碓氷・上三川線	1981	59.0	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県上三川町	2021	Ⅱ	2026										●					
38	上北歩道橋	碓氷・上三川線	1975	68.0	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県上三川町	2021	Ⅰ	2026										●					
39	ゆづりお歩道橋	碓氷田・上郷生線	2007	36.9	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県上三川町	2021	Ⅱ	2026										●					
40	宝木通歩道橋	大沢・宇都宮線	1985	111.8	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市宝木町	2019	Ⅱ	2024						●				●					
41	竹林歩道橋	氏家・宇都宮線	1969	44.5	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市竹林町	2019	Ⅰ	2024										●					
42	白沢小歩道橋	氏家・宇都宮線	1979	46.6	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市白沢町	2021	Ⅱ	2026										●					
43	白沢歩道橋	氏家・宇都宮線	1979	61.3	2.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市白沢町	2021	Ⅱ	2024										●					
44	町水小にこにこ歩道橋	上郷生・下郷水線(宇都宮・河内線)	1997	125.8	3.0	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市町水町	2019	Ⅱ	2024										●					
45	田原町小にこにこ歩道橋	上郷生・下郷水線(宇都宮・河内線)	2002	42.0	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市上田町	2019	Ⅱ	2024										●					
46	緑之丘と小泉の境上歩道橋	宇都宮・碓氷線	2014	47.7	1.5	宇都宮土木事務所	栃木県上三川町坂上	2021	Ⅰ	2026										●					
47	下栗歩道橋	宇都宮・真岡線	2015	115.0	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市下栗町	2021	Ⅰ	2028															
48	府所歩道橋	国道29号	1968	34.1	1.5	鹿沼土木事務所	栃木県鹿沼市府所町	2021	Ⅱ	2026										●					
49	さつぎが丘歩道橋	国通121号	1977	38.8	1.5	鹿沼土木事務所	栃木県鹿沼市藤町	2019	Ⅱ	2024										●					

個別施設リスト (2024年度)

個別施設リスト（2024年度）																										
No	施設名	路線名	架設年 (年)	橋長 (m)	職員 (m)	管理事務所	所在地	直近の 点検結果		次回 点検年度	R5 2023年度			R6 2024年度			R7 2025年度			R8 2026年度			R9 2027年度			備考 百万円
								点検 15箇所	設計 2箇所		補修 8箇所	点検 40箇所	設計 0箇所	補修 4箇所	点検 10箇所	設計 0箇所	補修 5箇所	点検 56箇所	設計 3箇所	補修 0箇所	点検 50箇所	設計 0箇所	補修 0箇所			
50	さつせが丘小学校前歩道橋	都賀線秋篠	1994	45.6	2.1	鹿沼土木事務所	栃木県鹿沼市西夜呂	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
51	相山平道橋	飯沼293号	1968	61.0	1.5	鹿沼土木事務所	栃木県鹿沼市相山町	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
52	深澤歩道橋	宇都宮・栃木線	1972	68.9	1.5	鹿沼土木事務所	栃木県鹿沼市深澤	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
53	野口砂道橋	飯沼119号	1969	26.4	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市野口	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
54	今市小前歩道橋	飯沼119号	1967	31.2	2.3	日光土木事務所	日光市今市	2021	Ⅲ	2026	道路改良工事、あて板補修														0.1	
55	小倉町歩道橋	飯沼119号	1972	87.2	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市今市	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
56	大沢小・中前歩道橋	飯沼119号	1968	35.0	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市大沢町	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
57	星ヶ石段歩道橋	飯沼121号	1971	46.0	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市星ヶ石	2020	Ⅲ	2025	道路改良工事、あて板補修														2.0	
58	大谷歩道橋	飯沼121号	1998	29.9	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市大谷町	2020	Ⅱ	2025	道路改良工事															
59	大桑歩道橋	飯沼121号	1980	64.1	2.0	日光土木事務所	栃木県日光市大桑町	2020	Ⅱ	2025	道路改良工事															
60	川原歩道橋	飯沼121号	1980	50.8	2.0	日光土木事務所	栃木県日光市川原町	2020	Ⅰ	2025	道路改良工事															
61	豊郷中前歩道橋	飯沼121号	1990	58.5	2.1	日光土木事務所	栃木県日光市豊郷町	2020	Ⅰ	2025	道路改良工事															
62	大谷台歩道橋	飯沼121号	1971	74.0	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市今市	2020	Ⅱ	2025	道路改良工事															
63	芝部歩道橋	飯沼121号	1976	38.5	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市今市	2021	Ⅲ	2026	道路改良工事、あて板補修														0.1	
64	七木地歩道橋	飯沼461号	1977	261.9	2.0	日光土木事務所	栃木県日光市今市	2020	Ⅰ	2025	道路改良工事															
65	大沢歩道橋	下野大沢停車場線	1965	72.0	2.0	日光土木事務所	栃木県日光市大沢町	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
66	大沢（水和田田）歩道橋	下野大沢停車場線	1980	58.0	2.0	日光土木事務所	栃木県日光市水和田田	2021	Ⅱ	2026	道路改良工事															
67	大塚小学校前歩道橋	大塚・大沢線	2002	56.3	1.5	日光土木事務所	栃木県日光市大塚	2021	Ⅰ	2026	道路改良工事															
68	堤歩道橋	飯沼121号	1963	41.6	1.5	真岡土木事務所	栃木県日光市大塚	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
69	久下田2号歩道橋	飯沼294号	2023	52.4	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市久下田	未点検		2028																
70	久下田1号歩道橋	飯沼294号	1983	80.4	2.0	真岡土木事務所	栃木県真岡市久下田	2019	Ⅲ	2024	道路改良工事、あて板補修														110.0	
71	津井歩道橋	飯沼294号	1984	80.4	2.0	真岡土木事務所	栃木県真岡市津井	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
72	藤歩道橋	飯沼294号	1988	54.0	2.3	真岡土木事務所	栃木県真岡市藤光寺	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
73	兵田歩道橋	飯沼408号	1978	48.0	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市兵田	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
74	外郷歩道橋	宇都宮・真岡線	1985	68.8	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市外郷	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
75	台の瀬歩道橋	真岡・上三川線	1968	40.6	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市台町	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
76	高寺歩道橋	真岡・上三川線	1974	182.2	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市並木町	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
77	高南木歩道橋	真岡・上三川線	1985	86.2	2.1	真岡土木事務所	栃木県真岡市熊倉町	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
78	高橋大歩道橋	真岡・上三川線	1990	76.6	2.1	真岡土木事務所	栃木県真岡市高橋大木	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
79	大沼歩道橋	真岡・上三川線	1994	67.0	2.1	真岡土木事務所	栃木県真岡市上大沼	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
80	羽津歩道橋	真岡・上三川線	1981	48.8	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市羽津	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
81	相母井前歩道橋	宇都宮・栃木線	2009	105.2	2.1	真岡土木事務所	栃木県芳賀郡相模町相母井	2022	Ⅰ	2027	道路改良工事															
82	龜山歩道橋	宇都宮・真岡線	1985	41.6	1.5	真岡土木事務所	栃木県真岡市亀山	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
83	西方小学校前歩道橋	飯沼293号	1999	194.7	2.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市西方町元	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事														325	
84	船塚小前歩道橋	飯沼352号	1972	37.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市船塚町	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
85	中沢小（大沢）歩道橋	飯沼352号	1983	24.0	1.0	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町上藤塚	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
86	下石地歩道橋	飯沼352号	1986	32.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡石橋	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
87	平柳町歩道橋	宇都宮・栃木線	1997	32.2	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市平柳町	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
88	重谷歩道橋	宇都宮・栃木線	1999	26.6	1.5	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町高谷	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
89	壬生小学校前歩道橋	宇都宮・栃木線	1982	25.8	2.1	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町大井	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
90	西高野歩道橋	宇都宮・栃木線	1974	21.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町本丸	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事														50	
91	安藤小学校前歩道橋	宇都宮・栃木線	1994	77.3	1.5	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町安藤	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
92	南大塚中学校前歩道橋	宇都宮・栃木線	1992	25.2	2.0	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町安藤	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
93	藤野歩道橋	宇都宮・栃木線	2013	27.1	2.1	栃木土木事務所	栃木県下都賀郡壬生町壬生甲	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
94	蓮沼町歩道橋	宇都宮・栃木線	1993	89.0	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市蓮沼町	2019	Ⅰ	2024	道路改良工事															
95	大平町小前歩道橋	栃木・桐野線	1993	26.7	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市大平町霞田	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
96	横沼地歩道橋	栃木・桐野線	1995	24.5	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市大平町霞田	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
97	横沼交差有歩道橋	栃木・桐野線	1979	26.0	2.0	栃木土木事務所	栃木県栃木市横沼町藤岡	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															
98	熊岡歩道橋	栃木・桐野線	1977	79.1	2.0	栃木土木事務所	栃木県栃木市熊岡町藤岡	2022	Ⅱ	2027	道路改良工事															
99	半田川岸歩道橋	八木・壬生線	1980	59.9	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町飯塚	2019	Ⅱ	2024	道路改良工事															

個別施設リスト (2024年度)

No	施設名	路線名	架設年 (年)	橋長 (m)	幅員 (m)	管理事務所	所在地	直近の 点検結果 点検年次	次回 点検年度	対策内容	R5			R6			R7			R8			R9			概算事業費 百万円
											点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	
											16施設	2施設	8施設	40施設	0施設	4施設	10施設	0施設	56施設	3施設	0施設	50施設	0施設	0施設	0施設	
100	扶桑歩道橋	小山・壬生線	1978	103.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町南平田	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
101	豊田前小学校前歩道橋	栃木・小山線	1979	53.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町松沢	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
102	野中町歩道橋	栃木・相模線	1979	46.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市野中町	2019	Ⅲ	2024	道路久装換、あて既補修			●												
103	千柳小前歩道橋	栃木・相模線	2003	30.5	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市大森町	2019	Ⅰ	2024																
104	おちちのまち歩道橋	羽生田・上瀬生線	1976	48.4	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町萩島	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			200.0
105	萩島歩道橋	小山線	1978	35.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町萩島	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
106	大塚歩道橋	小山線	1971	42.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町大塚	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
107	西水谷歩道橋	吉舟・小山線	1968	14.4	1.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市大田町西水谷	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
108	中小小学校前歩道橋	吉舟・小山線	1978	39.2	1.5	栃木土木事務所	栃木県小山町南小鉢	2019	Ⅱ	2024	道路久装換			●												
109	自治地区新道橋(栗)	下野・二宮線 (佐原・二宮線)	1978	126.2	2.0	栃木土木事務所	栃木県下野市蒲崎寺	2022	Ⅲ	2027	道路久装換、あて既補修									●						243.0
110	いすゞみなみ歩道橋	和泉・関ヶ原線	2007	11.7	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市大田町佐仲	2019	Ⅱ	2024	道路久装換															
111	生井歩道橋	栃小林・松原線	1994	69.7	2.1	栃木土木事務所	栃木県小山町大学生井	2019	Ⅱ	2024	道路久装換															
112	箱崎町歩道橋	栃木環状線	1973	25.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市箱崎町	2022	Ⅱ	2027	道路久装換															
113	箱崎町歩道橋	栃木環状線	1972	20.5	2.0	栃木土木事務所	栃木県栃木市箱崎町一丁目	2022	Ⅱ	2027	道路久装換															
114	箱崎町西歩道橋	栃木環状線	1993	27.0	1.5	栃木土木事務所	栃木県栃木市箱崎町	2019	Ⅰ	2024													●			
115	仁井田さくら児童園線	宇都宮・那須線 (宇都宮・那須線)	2000	62.4	3.0	矢板土木事務所	栃木県塩谷郡高根沢町坂窪	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
116	仁井田歩道橋	宇都宮・那須線 (宇都宮・那須線)	2001	63.2	1.5	矢板土木事務所	栃木県塩谷郡高根沢町石米	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
117	町民広域出入口歩道橋	宇都宮・那須線 (宇都宮・那須線)	1992	79.3	2.1	矢板土木事務所	栃木県塩谷郡高根沢町石米	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
118	乙畑地区線	矢板・那須線	2004	34.4	2.1	矢板土木事務所	栃木県矢板市乙畑	2023	Ⅱ	2028	道路久装換															
119	乙畑地区線	矢板・那須線	2004	50.6	2.1	矢板土木事務所	栃木県矢板市乙畑	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
120	熊山歩道橋	氏家・宇都宮線	1969	79.7	2.0	矢板土木事務所	栃木県塩谷郡氏家町氏家	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
121	上河久津第2歩道橋	氏家・宇都宮線	1984	75.7	1.5	矢板土木事務所	栃木県塩谷郡氏家町上河久津	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
122	乙畑地区歩道橋	清須線・乙畑線	2005	42.8	1.5	矢板土木事務所	栃木県矢板市乙畑	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
123	大手歩道橋	国道400号	1968	36.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県大田原市新道町	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
124	大山歩道橋	国道400号	2012	32.9	2.1	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市神保2丁目	2023	Ⅰ	2028																
125	大東郷歩道橋	国道400号	2009	15.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市大東郷	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
126	栗原町歩道橋	国道461号	1970	14.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県大田原市栗原3丁目	2019	Ⅰ	2024				●												
127	豊洲歩道橋	黒磯・栃久線	1966	49.3	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市豊洲	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
128	みんぐの歩道橋	西部須野・那須線	2004	31.0	2.1	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市埼玉3丁目	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
129	下野町歩道橋	黒磯・栃久線	1973	17.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県塩原町下野町	2021	Ⅰ	2026																
130	共美小前歩道橋	黒磯・栃久線	1977	17.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市共美社	2021	Ⅱ	2026	道路久装換	●														
131	郷久歩道橋	西部須野・那須線	1968	14.0	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原町郷久	2023	Ⅱ	2028	道路久装換	●														
132	大和歩道橋	西部須野・那須線	1971	14.5	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原町豊浦	2021	Ⅰ	2026																
133	稲村歩道橋	黒磯・田沼線	1972	43.4	1.5	大田原土木事務所	栃木県那須塩原市埼玉五	2022	Ⅰ	2027													●			
134	出流町歩道橋	国道293号	1979	47.1	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市出流町	2022	Ⅰ	2027													●			
135	鉢木歩道橋	国道293号	1994	74.3	2.1	安足土木事務所	栃木県佐野市鉢木3丁目	2022	Ⅰ	2027	道路久装換												●			
136	第一田沼歩道橋	佐野・行田線	1990	58.7	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市高根町	2021	Ⅱ	2026	道路久装換												●			
137	高根町稲穂歩道橋	佐野・古河線	1975	50.3	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市高根町	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
138	鹿門歩道橋	佐野・下河線	1998	78.3	2.1	安足土木事務所	栃木県佐野市鹿嶋	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
139	越谷歩道橋	佐野・古河線	1998	49.3	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市越谷	2022	Ⅰ	2027													●			
140	北中学校前歩道橋	佐野・日沼線	1972	58.8	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市高根町	2022	Ⅰ	2027													●			
141	奈良湖歩道橋	佐野・日沼線	1974	148.8	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市堀米町	2022	Ⅰ	2027													●			
142	志水歩道橋	佐野・日沼線	1972	46.7	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市新志水	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
143	下野歩道橋	佐野・日沼線	1986	47.2	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市下野町	2022	Ⅰ	2027													●			
144	大磯町歩道橋	栃生・岩舟線	1969	29.2	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市大磯町	2022	Ⅰ	2027													●			
145	伊勢山歩道橋	栃生・岩舟線	1976	145.8	2.0	安足土木事務所	栃木県佐野市伊勢山町	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
146	伊勢山北歩道橋	栃生・岩舟線	1980	38.9	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市伊勢山町	2022	Ⅰ	2027													●			
147	村上歩道橋	佐野・大田線	2008	20.4	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市村上町	2022	Ⅱ	2027	道路久装換												●			
148	大伏歩道橋	清沢山公園線	1970	41.8	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市大伏下町	2022	Ⅰ	2027													●			
149	鷺生小前歩道橋		1971	58.3	1.5	安足土木事務所	栃木県鷺生町中沢2丁目	2022	Ⅲ	2027	道路久装換、あて既補修	●											●			55.0

個別施設リスト (2024年度)

個別施設リスト(2024年度)										町営事業費														
No	施設名	路線名	架設年 (年)	橋長 (m)	幅員 (m)	管理事務所	所在地	直近の 点検結果 点検年次 判定	次回 点検年度	R5 2023年度			R6 2024年度			R7 2025年度			R8 2026年度			R9 2027年度		
										点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修	点検	設計	補修
150	山川閣歩道橋	佐野橋1線	1980	80.6	2.0	安足土木事務所	栃木県佐野市大橋町	2022	Ⅱ	2027														
		国道293号	2009	72.2	2.1	安足土木事務所	栃木県足利市堤町町	2022	Ⅱ	2027														
152	大月歩道橋	国道293号	2006	82.9	2.1	安足土木事務所	栃木県足利市大月町	2022	Ⅱ	2027														
		国道293号	1980	52.0	1.5	安足土木事務所	栃木県佐野市大崎町	2022	Ⅰ	2027														
154	曇平町歩道橋	国道293号	1967	52.2	2.3	安足土木事務所	栃木県足利市曇平町	2022	Ⅱ	2027														
155	信恒町歩道橋	足利・大田線	1980	45.8	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市信恒町	2022	Ⅰ	2027														
156	加子歩道橋	足利・沼津・行田線	2002	63.4	2.1	安足土木事務所	栃木県足利市久保田町	2022	Ⅱ	2027														
157	箕波歩道橋	足利・沼津・行田線	1999	81.7	2.1	安足土木事務所	栃木県足利市羽戸町	2022	Ⅱ	2027														
158	柳生・岩井線	柳生・岩井線	1969	36.6	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市柳生町	2022	Ⅱ	2027														
159	山川町歩道橋	柳生・岩井線	1977	39.0	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市山川町	2022	Ⅱ	2027														
160	八野歩道橋	柳生・岩井線	1966	37.0	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市八野町	2019	Ⅱ	2024														
161	柳原歩道橋	足利横沢線	1975	143.0	2.0	安足土木事務所	栃木県足利市横沢町	2022	Ⅰ	2027														
162	巴野歩道橋	足利横沢線	1973	46.8	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市雲輪町	2022	Ⅰ	2027														
163	越前歩道橋	足利横沢線	1967	45.7	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市通町丁目	2022	Ⅰ	2027														
164	福澤歩道橋	足利横沢線	1975	37.3	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市福澤町	2022	Ⅱ	2027														
165	柳原歩道橋	中野・堀田線(中野・堀田線)	1976	35.2	1.5	安足土木事務所	栃木県足利市福澤町	2021	Ⅱ	2026														
166	柳原歩道橋	柳原歩道橋	1974	39.0	2.0	栃木土木事務所	栃木県栃木市片岡町	2019	Ⅱ	2024														
167	自治体大森駅前歩道橋(東)	下野・二荒線(沼底・二荒線)	1972	22.1	1.5	栃木土木事務所	栃木県下野市渡部町	2023	Ⅲ	2028														
		大宮北小川あわせ歩道橋	2020	29.9	2.1	栃木土木事務所	栃木県栃木市大宮町	未点検		2025														
169	西三崎にいちろ歩道橋	国道406号	2021	36.9	2.1	大田町土木事務所	栃木県那須烏山市西三崎	2023	Ⅰ	2028														
170	インターパークかやき歩道橋	国道121号	2021	85.7	2.1	宇都宮土木事務所	栃木県宇都宮市重保町	未点検		2026														
171	片岡歩道橋	矢保・影沼線	2020	51.8	1.5	矢保土木事務所	栃木県矢保市片岡町	2020	Ⅲ	2025														
172	壬生(旧けやき歩道橋	羽生田・上蒲生線	2022	40.0	2.1	栃木土木事務所	栃木県壬生町有町	未点検		2027														